

寄稿

人口減少社会と 地方都市の活力再生

103

株式会社さくら都市総合研究所

主席 清水 秀幸
主研究員



17 都市の景観を 考える

長野市美術館が取り
組む「アートメントN
AGANO」の開催さ
れた10日間の公演回数
は全部で13回に及び、
そのうち満席になった
のは200〜300席
の会場を中心に8公演。
残念ながら、フルオ
ーケストラの演出を用
意したメインホールで
の公演は、5割に満た
ない閑散とした中での
コンサートだった。

一方、市民有志が市
街地の劇場やギャラリ
ーで主導した「プリン
ジ長野」は、わずかな
準備期間での開催だっ
たが、思いのほか22の
催しが盛況裡に終了し、
賑わいの創生とまちの
活力増進に少なからず

一石を投じる結果にな
ったと筆者は考える。
音楽の普及、とりわ
け街中に音楽が常に流
れるという啓発は、息
の長い取り組みを必要
とする。

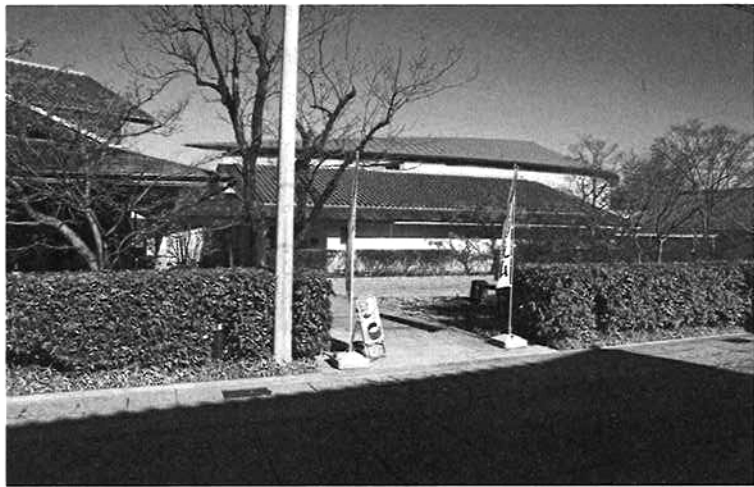
多くの市民が音楽を
身近な存在として、生
演奏を直接聞く場を増
やすことで、日常に音
楽が定着し、いつの間
にかそれがその街の当
たり前な姿に変わり、
次の時代に継承され、
さらに新しい文化芸術
の芽を創生していく。
これが文化芸術の醍醐
味であり、知らずのう
ちにそのまちのブラン
ディングとなるのだ。

一方で、松代町にあ
る「池田満寿夫美術館」

が7月末で閉館を余儀
なくされる大変残念な
出来事が報じられた。

同館は同市出身の彫刻
家、池田満寿夫氏の多
彩な魅力を20年にわた
り発信し続けた美術館
で、その所蔵品は2千
点に及ぶ。(続く)

清水 秀幸氏(しみ
ず・ひでゆき)195
2年長野市生まれ、76
年明治大学政経学部政
治学科卒。2013年
6月株式会社守谷商会
役員を退任し、同年7
月株式会社さくら都市
総合研究所を設立。長
野市都市計画審議会専
門委員ほか6委員、そ
の他各地方自治体の審
議員・部会員を兼任。
現在同研究所社長



夏に閉館した池田満寿夫美術館